麦作情報（R３年産 No.１）

令和２年９月１８日
湖北農業農村振興事務所 農産普及課
（湖北農業普及指導センター）

稲刈り後の溝切りは順調に進んでいますか？
早期排水対策の徹底を！

1. 排水対策で収量・品質UP！

麦作にとって、排水対策は最も重要な技術です。播種時の土壌水分を低くすることで、**①播種・出芽の精度向上、②除草剤の効果安定、③麦の生育改善や収量・品質の向上**といった効果が期待できます。

2. 溝切りをいち早く行い、水田を乾かしましょう！

稲刈りが終わったほ場から、順次溝切りを行いましょう。播種時期を見据え、10 月上旬までを目途に作業を行います。

ただし、ほ場表面の滞水が目立つ場合、無理に機械作業を行うとほ場が荒れるため、まずは中干し溝等を利用して表面滞水の解消を促しましょう。

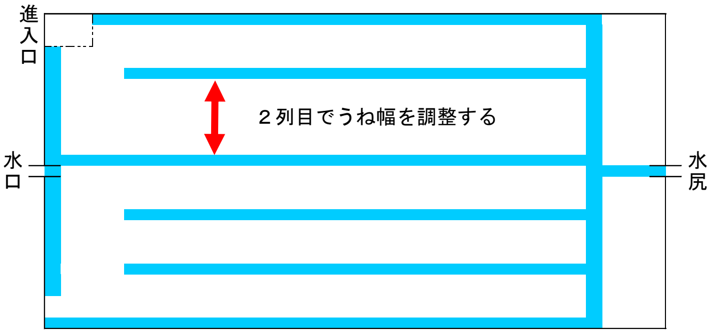
特に本年は、梅雨の期間が長かったことから、中干しが不十分になり、コンバインの走行跡に滞水しているほ場が散見されます。ほ場が乾くタイミングを逃さず、排水溝を設置し、スムーズに播種が行えるように準備を進めましょう。

オーガ式溝堀機等で
しっかりした排水溝を作る

3. 排水溝(明きょ)は水尻まで流れるように！

①溝のつなぎ目は連結する②水尻に向かって深くする等で、水口から水尻までスムーズに排水するようにしましょう。

一般的な優良施工事例



排水溝は尻水戸にしっかりつなぐ！
（溝の深さは１５cm 以上）